

申請者	学科名	造形デザイン学科	職名	准教授	氏名	真世土 マウ
調査研究課題	古代中南米土器の分析、及び日本陶磁器技法における再創造。					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	真世土 マウ	デザイン学部 造形デザイン学科	陶磁器 デザイン		
	分担者					
調査研究実績の概要	<p>本研究では古代中南米土器の分析をおこない、これらを日本の陶磁器技法によって再創造することで、中南米土器の文様や造形デザインを通して、ラテンアメリカ文化を紹介すると同時に、日本陶磁器の素材及び技法を海外へ広めることを主な目的としている。また、本研究から生まれる陶磁器作品による展覧会の開催が日本と他国との交流を深める機会になることも期待される。</p> <p>これらの目的を達成するためにはかなりの研究時間や実験を必要とするが、まず今年度は研究調査、作品制作、国際交流授業と作品発表から始めることにした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 8月から石川県九谷技術研修と能美市九谷焼資料館との研究調査を始めた。 (佐久間忍館長) http://www.kutaniyaki.or.jp/ 9月からインターネットを通し、海外研究調査を始めた。 メキシコの文化財や遺跡の保護活動を行う政府機関「国立人類学歴史研究所」(INAH: Instituto Nacional de Antropologia e Historia) http://www.inah.gob.mx/es/ 					

<p>調査研究実績 の概要</p>	<p>3. 本学、後期の演習授業「造形デザイン演習Ⅱa」で土器作り技法の演習行なった。 (別紙参照)</p> <p>4. 今年度作品発表：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 展覧会 『風土記の丘で』 日時 4月19日～5月6日 会場 岡山県総社市総社吉備路文化館 岡山県総社市総社旧山手村役場 作品数 2点 ● 展覧会 『コケムシ展』 日時 4月18日～4月26日 会場 岡山県倉敷市蟲文庫店内 作品数 1点 ● 展覧会 『The power of craft』 日時 8月18日～9月20日 会場 韓国デブ島(マックアート美術館) 作品数 1点 ● 展覧会 『Ofrenda de Muertos』 日時 10月26日～11月6日 会場 東京にあるメキシコ大使館 作品数 2点 (別紙参照) <p>5. (現在作品制作中) 次年度発表する予定。 別紙参照</p> <p>以上</p>
-----------------------	--